

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
海陽町	③学校と家庭の課題	その他	共働きの増加、核家族化によって、子どもたちの安心安全な居場所づくりが求められている。また家庭だけでは補えない、様々な体験活動、学びを行う場が必要とされている。	・社会福祉協議会やNPO団体、婦人会などの外部団体と協力をし、月に1回程度、外部団体を招いた教室を行う。 ・月に1度行っている3者会議での話し合いで各子ども教室の内容をより共有するようにする。	様々な体験を開催することで、児童が体験出来る機会を増やし、豊かな学びに繋げる。	ひと月当たりの平均体験教室数及び参加率。	3 ・ 不明	件 ・ %	4 ・ 60		